

村田委員よりいただいたご意見

～文化芸術・スポーツ振興を考えるときに～

1. それに関わる全ての人たちの理想は真っ当であることだと考えます。
そのために、3つのクオリティー向上を目標とします。礼節の向上・意識の向上・活動の正当性（文化的活動でも、芸術活動でも、スポーツでも、行っていることが王道をはずしていない事）です。荒れて倦んだ空気の活動は、必ず廃れます。
3つのクオリティー向上により長期継続が促進されると思います。
2. 文化芸術・スポーツに参加しようとしている人、興味のある人へ通りすがりでも参加できるような敷居の低い行事などを開催し、意識の変化を促すと思います。
3. 区全体として調和のとれた活動が効率よく盛んに行われる事が肝心です。
同じような試み（イベント・施策等）があまりに参加者を取り合うような不効率は避けると良いと思います。行政においても、横断的な特命チーム等を作るなど、イベント・施策がコンフリクトしないような調整機関があると良いと思います。限りあるリソースの無駄を減少させます。
4. 区民の皆さまは何かと忙しく、文化や芸術・スポーツに興じられる心のゆとり、金銭的なゆとり時間のゆとりがなかなか捻出できない人も多いと思います。また、豊かな生活は物質的な豊かさと、こればかりを追求している風潮もあると思います。
文化芸術・スポーツ振興ビジョンを通して、文化的にも、肉体的・精神的にも知性ある人間として本当に豊かな人生を送れる多様性と方向性を示し、それによる施策が人々の考え方の良い変化を促進し、良い連鎖反応が区内のみならず全国に広まる・・・そのような夢のあるビジョンをともに考えていきたいと思います。